



登立小だより

弥生号



登立小HP
文責 校長

学びの足跡を未来へつなぐ

令和七年度も、いよいよ締めくくりとなりました。この一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りました保護者の皆さま、地域の皆さまに心より御礼申し上げます。子供たちは、日々の学習はもちろん、行事や児童会活動、地域との交流など、さまざまな場面で大きく成長しました。うまくいかず悩んだ日も、仲間と支え合い挑戦した日も、そのすべてが個々の力となり、確かな足跡として刻まれています。私たち教職員は、子供たちの笑顔や真剣なまなざしに何度も励まされながら、この一年を歩んできました。「できた!」「わかった!」という瞬間の喜びはもちろんです、うまくいかなかった経験から立ち上がろうとする姿にも、子供たち一人ひとりの未来への可能性を感じています。今年度の終わりは、次のステージの始まりでもあります。進級・進学する子供たちがこれまで培った力を胸に、さらに豊かな学びと経験を重ねていけるよう、私たちも引き続き全力で支えてまいります。最後になりましたが、本校を温かく見守り、子供たちを励まし続けてくださったすべての皆さまに、深く感謝申し上げます。来年度も変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

明日は、卒業式です。六年生が巣立ちを迎えます。のびっ子のリーダーとして学校のために、後輩たちのために、よく気づき、深く考え、力の限り行動しました。仲間を大切に、他者への礼節を重んじ、高い道徳性に裏付けられながら学校生活を送ってきました。その姿は私たちの誇りであり、登立の誉です。明日は、全員で、六年生全二八人の卒業を心からお祝いしたいと思います。皆様、一年間、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

卒業式 谷川俊太郎
ひろげたままじや持ちにくいから
きみはそれをまるめてしまつ
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのそいでみる
小さな丸い穴の向こう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげあたま
まわっている書の太陽
そしてそれらのもつとむこう
きみは見る
星雲のようにこんとんとして
しかもまぶしいもの
教科書には決してのつていす
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡のぞく
きみの未来



お別れ集会

六日(金)は、のびっ子が待ちに待った「遠足」でしたが、なんと雨の一日となりました。予定を変更して、体育館で「お別れ集会」を開きました。「遠足中止」もなんのその、会場は大盛り上がりでした。「のびっ子自慢発表会」から始まり、「6年生への感謝の会」と続きました。のびっ子会と5年生が中心となって、計画から運営までしっかりと行ってくれました。熱く燃えながら、やさしさもいっぱい体育館でした。思い出に残る時間となりました。



出前授業

6年生が体育の特別授業に参加しました。大矢野中学校の先生(保健体育)を講師にお迎えし、集団行動について学んだ6年生です。きびきびと無駄のない動き、一糸乱れない行動を体験し、みんなで揃えることの大切を実感する時間になりました。松尾先生からは「集団行動は体育の時だけでなく、クラスの団結につながります。」とご指導いただきました。緊張した一時間でしたが、中学校生活への意識もぐっと高まった時間となりました。



優しく、丁寧にご指導いただいた松尾先生、ありがとうございました。のびっ子たちを、中学校でもよろしくお願いたします。

4月・5月の主な予定

- 4/ 8(水)1学期始業式
- 4/ 9(木)入学式
- 4/17(金)歓迎遠足
- 4/23(木)地震・津波避難訓練
- 全国学力学習状況調査(6年)
- 4/28(火)PTA総会・授業参観
- 4/30(木)学力検査(~5/1)
- 5/21(木)振替休業日
- 5/24(日)運動会
- 5/28(木)体カテスト

のびっ子集会(児童集会)

のびっ子全員が学校生活を振り返りながら、よりよい登立小をつくるために話し合いました。前に立った委員会の代表も新しいリーダーに変わりました。互いに質疑応答、感想発表等のやり取りも、さすがのびっ子たちです。一年生からもどんどん手が上がり、話し合いの時間が足りないくらいでした。一年間の学校生活は楽しく、笑顔であふれるものであったと感じます。全員で「すすんで、自分で、自分たちで」つくり上げてきたのびっ子の日々でした。



あとがき「言葉の奥行きを味わうことの大切さ」

新聞記事で、国語の授業で「詩の鑑賞文」に取り組んだ経験が、その後の学びにつながったという話が紹介されていました。記事の筆者は、詩を読む際、書かれている言葉だけでなく、その背景にある情景や作者の思いまで想像しながら読み進めることで、文章がぐっと豊かに感じられるようになったそうです。授業では、教師の問いかけをきっかけに、自分の考えを深めていくことの楽しさを知り、「言葉の背後を読み取る姿勢」が育まれたといいます。この体験が、のちに言語の世界を探究する道にもつながったとのこと。文章には、見える部分以上の広がりがあります。行間を味わいながら読むことで、新しい気づきが生まれます。のびっ子たちにも、日々の学びの中で、言葉の奥にある世界に思いを巡らせる豊かな読書体験を重ねてほしいと思います。ご家庭でも、春休みの自由な時間を使って読書のすすめをお願い致します。



今年は、のびっ子全員で、一緒に「たてわり班遊び」や「のびっこ自慢発表会」で楽しむことができました。

この学校で、みんなとたくさん笑ったり歌ったりしました。私は、学年関係なくみんなで楽しむのびっ子が大好きです。

八月に起きた大雨で被災された方々への募金を呼び掛けたり、アロマに応援の寄書旗を持って行ったりとときに、誰かのために何かができるのはとても楽しく、やりがいがあることだと感じました。自分たちで行動したことが、誰かの笑顔につながることもとてもうれしかったのです。

今年も、何でもかんでも、自分たちで創り出しながら過ごしてきた一年でした。いろいろな経験をする中で、私たちのびっ子は成長することができました。最高の一年だったと感じています。

私たちは、これからも、みんなと登立小の歴史を作っていきます。朝のボランティア活動や委員会活動、もっともっと学校やのびっ子全員の笑顔が輝く学校にしていきたいです。

地域のみなさん、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。